

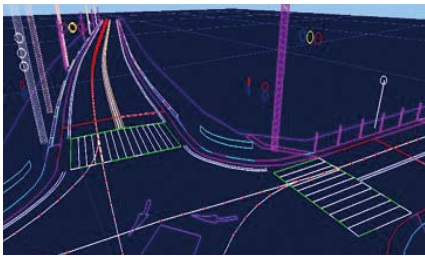
人と車のやさしい未来



愛知県では、交通事故の抑制を目的として、「自動車安全技術プロジェクトチーム (PT)」を設置し、企業・大学・行政が一丸となって、研究開発・実証実験、普及啓発等に取り組んでいます。このたび、PT の取り組みの一環として、自動車産業とIT 産業のさらなる融合を目指し、「モノづくり王国」愛知が誇る企業とともに、共同出展しています。

■出展企業紹介 (50 音順)

アイサンテクノロジー株式会社 AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD.



▲自動運転用高精度三次元地図データベース

【出展内容】高精度三次元道路地図情報を取得する、移動体計測車両モバイルマッピングシステム (MMS)、当社独自の加工を加えた高精度道路データベースをご紹介致します。更に、新たなソリューションとして、空からの三次元道路地図データを取得するために研究開発中 (新あいち創造研究開発補助金事業) の UAV を初出展致します。

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

三菱モバイルマッピングシステム (MMS) を利用した高精度三次元地図の作成を行っており、自動運転や安全運転支援に向けた研究開発の場面で様々な企業様、大学にご利用いただいております。作成する高精度三次元地図は、データベースの形式で提供しており、汎用性の高い情報としてご利用いただけます。

所在地:〒460-0003 名古屋市中区錦 3 丁目 7 番 14 号 ATビル / TEL 052-950-7500

事業内容: ソフトウェアの開発を主体としており、MMS、UAV から取得した高精度三次元地図情報や準天頂衛星「みちびき」を利用した高精度位置情報を活かし、自動運転市場での高精度地図データベースを提供しております。また、産官学連携によるコンソーシアムも運営しております。

愛知県立大学 情報科学共同研究所

Aichi Prefectural University,
Information Science and Technology Collaborative Research Institute



▲実映像型運転評価シミュレータ

【出展内容】私達は人・車・交通環境の三位一体の安全として、ドライバの運転能力評価・トレーニングとインフラ (白線) の質の維持管理について研究しています。その中から今回は、従来の検査器にはない「実映像型運転評価シミュレータ」と、路面にある白線の劣化状態を測定する「白線劣化データ収集システム」のデモを行います。

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

実写映像を用いることで、道路環境、天候、交通参加者などを目で見て感じることができる情報を従来の検査器の CG に比べてよりリアルに提供できます。また、白線劣化データ収集システムについては、走行中の画像から得られる指標を用いて、白線の擦れ・ひび割れ・欠けなどを測定できます。

所在地:〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3 / TEL 0561-76-8826

事業内容: ①自律型ロボット制御に関する研究 ②交通事故ゼロを目指した ITS 予防安全技術に関する研究 ③次世代コンピュータ支援画像診断システムに関する研究 ④次世代音声情報処理に関する研究 ⑤次世代情報ネットワークに関する研究

AZAPA 株式会社 AZAPA Co.LTD



▲リアルタイムに走行情報を送信・解析する AZP-OBD

【出展内容】整備士のみが利用していた OBD (自己故障診断装置) にテレマティクス機能を搭載し、走行中の車両情報の把握と、ドライバーへのフィードバックする機能の研究を紹介します。ADAS 関連では、自社の電気自動車を使って進めている独自の自動運転技術の一端をご紹介します。

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

国産車の誕生から 108 年。現在の自動車の性能に満足する人は多いでしょう。しかし私たちは、自動車業界の閉鎖性と技術革新の難しさを知っています。「クルマには想像もしない未来がある」。こう確信する私たちは Tier0.5 という前例のない企業戦略を携え、クルマづくりの常識に挑戦しています。

所在地:〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-14-20 THE SQUARE / TEL 052-221-7350

事業内容: AUTOMOTIVE、R&D、INFOTEC、ENERGY など



▲自動運転に必要なドライバーモニタリング

【出展内容】 自動運転技術は現在、ドライバー操作を必要としない車両システムの運用が技術的には可能な段階に到達しています。自動運転に向けて人とマシンの協調をサポートする技術としてカギとなるソリューションであるドライバーモニタリング技術、またコネクテッドカーをリモート攻撃から守るための対策について分析レポートを紹介。

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

SBD は、英国に本社を置く独立系コンサルティング会社です。自動車セキュリティ、テレマティクスシステム、自動車安全技術において、レポート・最新ニュースの発行、個別調査・コンサルティングサービスをご提供し、お客様のニーズに合ったサポートをご提供しています。

所在地：〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目 18 番 22 号三博ビル 6F / TEL 052-253-6201

事業内容：①レポート・最新ニュースの発行（解析レポート、データベース・総合ガイド、ベンチマーク、将来予測、エンドユーザ調査他）
②個別・コンサルティングサービス

株式会社トヨテック TOYOTEC Co., Ltd.



▲広角 120 度歪み無しレンズユニット

【出展内容】 ①自動車、セキュリティ向け超広角 180°レンズユニット・魚眼とは異なる超広角。周辺までくっきり、はっきり。周辺情報量増大! ②広角 120°歪れレンズユニット・周辺歪み無し! 画像処理ソフトウェアの負担を光学レンズで大幅軽減! ③レーザー照射光学系・レーザーレーダー、人体・物体検知セーフティスキャナ用途へ展開!

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

創業 70 年の長い歴史で培ったノウハウを部品製造へ展開し、『光学設計～金型（治具）製作～部品製造～組立～品質保証』まで一貫対応。自由曲面、回折形状など高難度、最先端の特殊形状の生産も可能。中国（広東省東莞）に 3 工場の生産体制を有し、世界中のお客様のサプライチェーンに柔軟対応します。

所在地：〒442-0012 愛知県豊川市新豊町 2-30 / TEL 0533-85-3000

事業内容：①精密光学部品（ガラスレンズ、プラスチックレンズ、薄膜製品、精密成型部品）製造 ②光学ユニット製造
【対象市場】カメラ、OA、プロジェクタ、センサ、セキュリティ、マシンビジョン、バーコード、自動車用品/光学設計、金型製作、部品製造、アッセンブリまで一貫対応

原田車両設計株式会社 Harada Vehicle Design Co., Ltd



▲ハイエンド 3D プリンタ（金属造形機 EOS M290）

【出展内容】 新しいモノづくりの提案!話題の 3D プリンタで金属材料を使いモノづくりが出来るようになりました。(EOS M290 Work Size : 250mm×250mm×325mm アルミ、チタン、インコネル、マルエージング鋼)

- ①モノづくりのスピード UP によるコストの削減
 - ②パーツの一体化による部品点数の削減
 - ③最適化設計による超軽量化
- 金属造形機の優位性をご覧ください。

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

自動車部品開発で培った技術と経験で貴社の商品開発をサポート致します。自動車のシート、内装外装樹脂部品、サスペンションの設計をしており、自動車走行安全にも関わる部品を設計開発しております。開発とモノづくりのスピードが最大の強みです。企画、設計、解析、モノづくり（試作から小ロット量産）まで対応可能です。

所在地：〒470-0224 愛知県みよし市三好町中島 24 / TEL 0561-34-6638

事業内容：自動車の設計開発、モノづくり事業を中心に航空、医療分野への取り組みを広げています。3DCAD/CAE と 3D Print/Scan にてより速いプロダクトアウトを実現し当社と出会えてよかったと言って頂き必要とされる企業を目指します。

株式会社プロツァ Prozza Co., LTD.



▲ラオスの世界遺産都市で活躍する電動三輪車

【出展内容】 旧型のガソリン三輪車の排気ガス、騒音、燃料価格に課題を抱える東南アジア諸国では、それに代わる市民の足として電動三輪車の導入に取り組んでいます。プロツァのペコロは、日本の技術が詰まったフィリピン製の E-trike。2015 年、JICA プロジェクトを通じ、ラオスの世界遺産都市・ルアンパバーンの公共バスとして導入されました。

■ここが No.1 ここがオンリーワン!

私たちが考える EV は、遠い未来の乗りものではなく、世界中の人にとって、もっと身近な乗りもの。私たちが東南アジアの電動三輪事業に乗り出したのは、そんな想いからです。プロツァは、日本の最先端技術とチャレンジスピリットで、“次世代ののりもの社会”を、世界中で実現していく企業です。

所在地：〒491-0083 愛知県一宮市丹羽大森 25 番地 1 / TEL 0586-72-0093

事業内容：電動バイク・電動三輪など EV 車両の製造メーカーです。カー用品の（株）プロスタッフ EV 事業部から 2013 年に分社化しました。近年、車両開発だけでなく EV パワーコンポネントシステムや車両運行&バッテリーの情報を管理する IT 技術の開発にも取り組んでいます。